



三原中だより

八丈町立三原中学校

令和7年1月17日 令和6年度 第9号



学校ホームページ <http://www.hachijomachi-tyk.ed.jp/mihara-jhs/>

＜学校教育目標＞

人間尊重の精神を貴重とし、豊かな社会の形成に貢献できる人間を育成する。

- やさしい人
- たくましい人
- よく学ぶ人



『 睦月 』

校長 石井 謙次

急ぎ足に年末年始の慌ただしさが去っていき、もう新年も2週間過ぎようとしています。

私はしばらく風邪気味で家で大人しくしていたのですが、3日の夕方になってご近所の漁師さんのところへ新年のご挨拶に伺いました。そこにはもうお一人漁師さんがいて、互いの近況や隣接する空き地の管理の話をしました。やがて話の内容は海へと移り、獲れる魚の変化や漁港のつくりなど、普段知ることのできない話を聞くことができました。やはりその道のプロの話は重みがあり、様々な課題を抱えながらも常に解決の道を探りながら生活しているのだということに刺激を受けます。

思い返せば去年はいろんなことにチャレンジしてきました。しかしそれらはいつだって孤軍奮闘というわけではありませんでした。そのいずれもプロの方々にお話を伺ったり、アドバイスをいただいたりしてきたものです。校庭整備でのインクラゲとの対決、水路づくりでは土木関係や建築関係の方から。お月見では団子づくりなどで地域のおばあちゃんから。坂上カンファレンスやスポーツ教室については三原小学校の記野校長先生と。そしてこれから取り組む土俵づくりではかつて相撲大会で活躍したお爺さんたち。みなさん、私の想いをくみ取ってくれて次々と「こうしたらいいよ。」とか「その部分は〇〇さんの方が詳しいから紹介するよ。」とか、まるで自分がことを起こすかのように目をキラキラと輝かせて話してくれました。まるでそこで宝箱を開けたように貴重な想いのかげらに触れることができました。そして必ず「応援しているよ。」と温かい言葉を添えてくださったのが私の背中を押してくれたように思います。ありがとうございました。

現在、私たちの生活の中ではオンラインで情報を検索したり、SNSやチャットを使ってコミュニケーションを図ったりして意思を伝達することが主流になっています。知りたいことは手っ取り早くAIによるチャットボットに質問を投げかけたり、YOUTUBEで「〇〇の仕方」や「〇〇の作り方」を視聴したりします。意思の伝達も、会社を退職するような重要なことさえ代行業者に依頼して直接伝えることを避けるようになっているようです。確かに相手の都合やタイミングを調整する手間もなければ、気持ちを押し量ることによる煩雑さを避けることができるのは、効率的でストレスなくことを進めることができるでしょう。しかし、しばしば“私”の求めていることとはズレていて結局様々な情報ソースを検索して時間がかかったり、場合によっては徒労に終わったりします。また、だんだんとそういうコミュニケーションのスタイルに慣れてしまって、直接話すことが億劫だったり怖くなったりしてしまっている人が増えているように思います。私自身もさんざん迷った挙句にもうこれ以上は待てないというところまで来て連絡することはよくあります。しかし、私を支えてくれた人たちは、親身になって私の言葉に耳を傾け、失敗しそうなことや困りそうなことを先回りして、私の足りない言葉を埋めてくれます。だからこそ、私も話をしてきた人へはその勇気を労い、少しでも温かく接してあげたいと思います。わたしの思う温かさとは、“ポジティブな考え”、“共感”、“応援”…私が多くの人からもらった宝箱の中にあつたモノたちです。

一月は昔の言い方で「睦月」と言います。一年のうち祭りごとの多かった月であるために「祭り月」と言われていたという説もありますが、その祭りごとの多い中で家族や仲間たちが“睦ぶ”（親しむ・仲良くする）月であるという説が有力だそうです。一年の初めの月を睦ぶことによって始めたこの国の文化はなかなかいいなと思います。今がもっとも寒い時期ですが、だからこそ近くに集い、想いを語ることの価値をかみしめる…そんなふうに過ごしたいものです。



心の教育

12月11日（水）の心の教育では、教材「石段の思い出」を用いて、「自分の弱さを認めることは強さなのか」をテーマに哲学対話を行いました。

この手法では、生徒たちが自分の意見を伝え合いながら、他者の考えに耳を傾け、多角的に物事を捉える力を育みます。対話の中で生徒たちは、「そもそも弱さを認めるとは何か」「それを実現するために必要なことは何か」について深く考えました。

感想には、「改善や努力をしようとするのが弱さを認めることだと気づいた」、「普段考えない視点に触れることができた」とあり、この活動を通じて、自己理解を深めるとともに、相手を尊重しながら対話することの大切さを学ぶことができたようです。

【授業者】



こども哲学の時間 対話のルール

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1 発言できるのはボールを持っている人だけ | 6 正解や結論を出す場ではない |
| 2 思いたいときは手を上げてボールをもらう | 7 話がまとまらなくてもいい |
| 3 人の意見に対して否定的な態度はとらない | 8 途中で意見が変わってもいい |
| 4 相手を打ち負かしたりはしない | 9 わからなくなってもいい |
| 5 おしゃべりの時間ではない | 10 お互いに問いかけ合えるようにする |



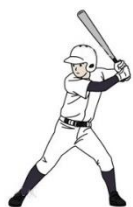
小学生部活動体験



12月13日（金）に、三原小学校5・6年生が、本校の部活動に参加しました。

限られた時間での活動でしたが、三原小在籍中には関わりのあった後輩たちと一緒に活動できたことで、本校の部員たちにも有意義な時間となりました。参加してくれた児童のみなさん、引率して下さった三原小学校の先生方、ありがとうございました。

【部活動担当】





八丈方言学習（劇団かぶつ観劇）



12月17日（火）に、八丈方言学習の一環として劇団かぶつの劇を鑑賞しました。

題目は「おきた地蔵 ねむた地蔵」。コミカルな内容で、生徒たちは笑い声をあげながら観劇していました。観劇後はかぶつの方々と交流し、昔の島の様子や劇団かぶつの歴史など、さまざまな話題で盛り上がりました。生徒からは、「知らない方言もいっぱいあったけれど、意外に理解できた。」「かぶつの方々が心から楽しそうに演じていたのが印象的だった。」「いろんな所で、八丈方言を使う場面があると思う。」などの感想があり、充実した方言学習になったようです。

【担当】



ウィンターコンサート



12月21日（土）は中学校合同ウィンターコンサートでした。

午前中はリハーサルを行い、まあまあ調子の良い様子。緊張と楽しみ両方のドキドキを感じながらいざ舞台へ。部員の4人全員がホールでの演奏を楽しみ、4月から努力してきた成果を発揮できました。12月のお忙しい中、おじゃれホールに足を運んでいただきありがとうございました。今後もみなさんを楽しませ、励まし、心を動かせる演奏を目指していきます。

【音楽部】

三原中単独演奏



三原中・富士中合同演奏



小学生と合同演奏



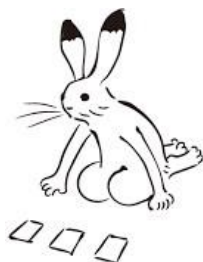
新春大会



1月8日（水）に毎年恒例の新春大会を行い、今年も盛り上がりました。

戦う前から接戦が予想されました。どの学年も練習するたびに上手くなっていくのです。どこが勝ってもおかしくないと思っていましたが、最終的には2年生が優勝。おめでとう。3年生にとっては最後の大会だったので、勝たなかったと思います。

今年の驚きは、3年生の頑張り。何とかしたいという気持ちが前面に出ていました。こういう気持ちで進路に向かってくれば、きょうまくいくことでしょう。健闘を祈っています。【国語科】



＜2月の主な行事予定＞



日	月	火	水	木	金	土
1月26日	27日	28日	29日 職員会議 〔ふらっと〕	30日	31日 SC	2月1日
2日	3日 朝のつどい 安全指導 新入生保護者説明会	4日	5日 三原中研究発表	6日 避難訓練	7日 SC 試験範囲表配布 新入生体験入学 新入生説明会	8日
9日	10日	11日 建国記念の日	12日 研修会 〔ふらっと〕	13日	14日 SC	15日 P連作品展 P連地域・PTAの つどい
16日 P連作品展 英語検定二次	17日	18日 学年末考査1週間前	19日 職員会議 〔ふらっと〕	20日	21日 SC 都立高1次入試	22日
23日 天皇誕生日	24日 振替休日	25日 学年末考査	26日 学年末考査 専門委員会	27日 学習発表会 リハーサル	28日 SC 学習発表会展示 準備	3月1日

***SC** : スクールカウンセラー勤務日 〔ふらっと〕 : 社協の学習教室

お子様の様子が気になるときはいつでも学校へご相談ください。（学校7-0057）

〈学校以外の相談窓口〉

- ☆八丈町教育相談室(2-0591)
- ☆東京都いじめ相談ホットライン(03-5331-8288)
- ☆東京都教育相談センター(03-3360-8008)
- ☆東京都児童相談センター(03-3202-4152)

